

情報化社会をどう生きる？

中学校・1～3年生

I プログラムについて

1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「権利と責任」）

＝【人権感覚育成のための視点】

個人情報の取り扱いやSNSの危険性に関する学習活動を通じて、情報モラルの意義を理解し、自他の権利を守るために責任ある行動をとることができるようにする。

◇関連する個別の人権課題「インターネットによる人権侵害」

2 関連する教科等について

○道徳

内容項目 [A 自由と責任]

3 人権教育上の視点

(1) 自他の権利を守るためにSNS上での個人情報の重要性に気付き、大切に扱おうとする。(価値・態度)

II アクティビティーについて

1 概要

○活動1

事前に、自己紹介カードに自己紹介文と似顔絵を自由に書く。

○活動2

ワークシートにあるSNSと情報の取扱いに関する問いについて、グループで意見交換を行う。

○活動3

事例カードを見て、それぞれの問題点と対応策について個人で考えた後、グループで意見交換を行い、出された意見を発表する。

2 準備するもの

- ワークシート
- 自己紹介カード
- 事例カード
- 色鉛筆（似顔絵を描くために必要な場合）

3 アクティビティーの進め方

- 活動1 「自分を表現するためには？」～自己紹介カード～
 - ① 自己紹介カードの記入の仕方の説明を聞き、自己紹介文を書く。
 - ・自分だと分かるように具体的に記入する。
 - ② 記入後、3～4人グループになって、カードをもとに1分間自己紹介を実施する。
- 活動2 「話し合い」
 - ① 活動1を踏まえて、ワークシートのQ1とQ2の二つの問いに対してグループで話し合う。
 - ② 発表者を決め、話し合った内容を発表する。（時間が足りない場合は、省略してもよい。）
 - ・活動内容を踏まえて教師側が補足説明を行う。
- 活動3 「事例カードから考える」
 - ① 事例カードを使用した活動の説明を聞く。
 - ② 個人でそれぞれの事例について問題点と対応策をまとめる。
 - ・時間がなければ、事例カードの中から一つ選択して考えさせる。
 - ③ グループで話し合い、その後グループごとに発表する。

4 アクティビティーを指導する際のポイント

- 個人情報が出ること、トラブルや犯罪にもつながり、自他の人権を侵害することにもなる。活動後の振り返りの時間を設ける中で、情報モラルを身に付け、自他の権利を守るための責任ある行動をとるように指導する。
- 自己紹介カードに記入する字数を指定し、載せられる範囲内で、どれだけ自分を表現できるかを考えさせる。
- 自己紹介カードで知った友達の個人情報は、今回の活動に必要なものであり、知り得た情報は決して外部に出さないように指導する。また、自己紹介カードは、終了後に教師が回収して破棄することを生徒に伝える。
- 例えば、3年生の社会科公民的分野で学ぶ「情報化」を扱った授業後に、内容を補充・深化・統合するように指導すると効果的である。

Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 生徒の反応例 (S)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
10分	1 グループで自己紹介 T グループになり、記入したカードを使って1分間で自己紹介をお願いします。 S 自分を表現するのは難しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ分けは、人間関係に配慮し、教師が事前に編成しておく。 ・他人の自己紹介をしっかりと聞き、お互いのよさを認め合える環境をつくるために、否定的な発言をしないように指示する。
35分	2 学習内容の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・この後のグループでの活動の流れを説明する。
	情報化社会における責任ある行動について考えよう	
	3 話し合い① T 各自でワークシートのQ1、Q2を記入し、グループで意見交換をしてください。 S SNS上にアップされていたら、知らない人が情報を入手できる。 S 情報が世界中に拡散する可能性がある。 S 住所・年齢・生年月日等は載せてはいけない情報だ。	<ul style="list-style-type: none"> ・司会と記録、発表者を決めさせることで、スムーズな話し合い活動を促す。 ◎自己紹介カードの内容がトラブルにつながる可能性について考えさせるために、その情報がなぜ危険なのかについて、できるだけ具体的に考えるように助言する。(価値・態度)
4 話し合い② T 事例カードを読んで、それぞれの問題点と対応策及びその理由について、グループで意見交換をしてください。 T 各グループで出た意見を発表してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの事例カードの状況を説明する。 ・自分がその立場に立ったらどう思うかを考えて、お互いに意見交換ができるように指導する。 ・グループ内で合意形成をする必要はないことを確認する。 	
5分	5 振り返り T 今日の学習を振り返り、考えたことをワークシートに記入してください。 S 周囲の人にも迷惑をかけてしまうので、責任をもって情報を扱いたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・数名の生徒に発表してもらい、学級全体で共有する。 ・この活動で知った個人情報を外部に出さないように必ず指導する。

(2) 事例カード

① A君は同級生のBさんの豪華な家に感動した。そして記念に1枚、スマホで外観を撮影し、ブログに投稿した。

② コンビニエンスストアでアルバイトをしているCさんが、深夜に冷凍ケースの中に入った自分の写真を撮影し、コメントを付け加え、SNSに投稿した。

③ メッセージアプリのグループトークで中学生のDさんは、忙しさのあまり、メッセージを読んでも返信しない日々が多かった。既読スルーが多かったため、同じグループのメンバーは、Dさん抜きで他のグループをつくり、Dさんの悪口を言っている。

④ EさんとFさんで撮った写真がうまく撮れていたため、SNS上に氏名と中学校名を載せてアップした。その後アップした写真が別のサイト上で使用されていた。

⑤ 中学生のG君が先輩から変なポーズをとるように言われ、仕方なくとったところ、その姿をスマホで撮影され、クラスの仲間にメールで送られた。

⑥ メッセージアプリで、HさんとIさんは、よくやりとりをしている。Hさんと仲の良いJさんは、Iさんとも仲良くしたいというので、HさんはJさんにIさんの個人IDを教えた。

(3) ワークシート

情報化社会をどう生きる？

()年()組()番 氏名()

☆「自分を表現するためには？」

Q1 もし自己紹介カードに載っている情報がSNS上にアップされていたら、どうなるでしょうか。

Q2 SNSに載せてはいけない情報とは、どんなものでしょうか。

☆「あなたならどうする？」～事例カードを見て、考えよう！

事例	問題点	対応策
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

<今日の学習を振り返って考えたこと>
